

質問回答書

令和7年度（繰越）瀬戸内海国立公園加太集団施設地区法面对策等工事

番号	質問に関する入札説明書、 図面等の記載箇所	質 問	回 答
1	特記仕様書 P2 3.施工条件 (1)工事全般関係 ②積算補正	工事費積算における経費計算条件について 施工地域区分：市街地(DID補正)(1)-3補正係数1.1 週休2日：現場閉所(週単位：完全週休2日) 前払い支出割合：35～40% 契約保証補正：必要(0.04)でよろしいでしょうか。 以上ご教示願います。	「土木工事標準積算基準書（令和8年度）」の該当区分は下記のとおりです。 施工地域区分：補正が適用されない施工地域 週休2日：補正しない（特記仕様書11） 前払い支出割合：10分の4以内（契約書案第35条） 契約保証補正：金銭的保証（契約書案第4条）
2	特記仕様書 P4 3.施工条件 (6)工事用道路関係	防護網設置工現場の遊歩道部への車両の乗り入れは可能でしょうか。(機資材及び発生材搬出に不可欠) また場合路面(レンガ等)の防護対策の計上は可能でしょうか。	遊歩道部への車両の乗り入れは可能です。 路面(レンガ等)の防護対策については契約締結後の協議とします。
3	設計内訳書 防護網設置工 各工区内 訳書 斜面整理工	斜面整理工とはどのような作業（処理）を行うものでしょうか、ご教示願います。	施工前に斜面の調査を実施して、ワイヤーロープが施工面に沿うように施工面の整理（最小限の樹木の伐採や下草の刈り取り）をするものです。
4	設計内訳書 発生材処理工	伐採木の運搬処分量について、算出根拠をご教示願います。また実施処分量により変更されるものと考えてよいでしょうか。	運搬量は、加太園地歩道部においては1平方メートルあたり0.5(本)（胸高直径0.1m、樹高5m）と想定して伐採木の本数を計算し、下記式により運搬量（立木材積）を算出しております。加太園地水路部においては現地で胸高直径、高さ、本数を測定し、下記式により算出しております。（胸高直径、樹高、本数は別紙のとおり。） $V = \pi / 4 \times d \times d \times h \times f$ （V：運搬量（立木材積）、d：胸高直径、h：樹高、f：係数0.5） 処分量は運搬量1立方メートルあたり0.55(t)と想定して算出しております。 また実施処分量により設計変更の対象とします。
5	設計内訳書及び図面 14/17 法覆工 練石積工 雑石・割雑石	雑石・割雑石（控え35cm）6.3m2が計上されていますが、どの部分の施工を指すのでしょうか。	練石積工で施工する雑割石について現地採取率50%と想定しており、残りの6.3m2部分の購入費について計上しています。
6	設計内訳書及び図面 14/17 法覆工 雑工 石積(練石)(複合)	すりつけ部の石積工が練石積となっていますが、右岸(重力式擁壁)の両側と左岸(石積)上流側は空石積となっています。右岸(空)0.72+0.72 左岸(空)3.31+(練)3.27 計8.02m2	図面の記載が誤っており、全て練石積です。
7	図面 13/17	石積(練石)(複合)の積算基準では、直高3.00mは前面勾配4～5分となっています。また現場を視察したところ、掘削を行う前に上部の植栽を撤去する必要があると思われるます。	本工事は既設水路の部分改修であり、前面勾配は既設水路に合わせております。植栽撤去については質問番号4のとおりです。
8	特記仕様書 P6～7 (8)建設副産物関係 ④建設リサイクル法対象工事 c 特定建設資材廃棄物の搬出	再生資源化等をする施設の名称及び所在地において、明示する施設の名称と所在地が交差しています。廃棄物の種類と施設名は間違いないでしょうか。	特記仕様書の表において下記のとおり所在地を訂正します。 コンクリート塊：安田金属工業(株) 和歌山市梶取13-1 建設発生木材：(株)玖保忠 和歌山市出島440-19

(別紙)

加太園地水路部の伐採木一覧表

番号	胸高直径(m)	樹高(m)	備考
1	0.2	8.0	
2	0.2	8.0	
3	0.2	8.0	
4	0.3	9.5	
5	0.2	8.0	
6	0.3	8.0	
7	0.2	8.0	
8	0.1	6.0	
9	0.1	6.0	
10	0.1	6.0	
11	0.3	8.0	
12	0.1	4.0	
13	0.1	5.0	